

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25019
学校名：平岸高台小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	<input type="checkbox"/> 全国平均と同程度もしくは上回った種目 握力、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	<input type="checkbox"/> 全国平均の記録より下回った種目 上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走	・授業時の準備体操や縄跳びなど継続した取組によって、筋力、跳躍力の高まりが見られた。
体力・運動能力 <女子>	<input type="checkbox"/> 全国平均と同程度もしくは上回った種目 握力、立ち幅跳び、ソフトボール投げ 20mシャトルラン、50m走	<input type="checkbox"/> 全国平均の記録より下回った種目 上体起こし、長座体前屈、反復横跳び	・休み時間などに進んでグラウンドや体育館で体を動かすことが多く、様々な運動特性をバランスよく身に付けることができたと考えられる。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<input type="checkbox"/> 「運動・スポーツが好き」 R6年度…男子100%、女子89%⇒R7年度…男子100%女子81.5% <input type="checkbox"/> 「体育に授業は楽しい」 R6年度…男子100%、女子92%⇒R7年度…男子100%、女子77.8%	<input type="checkbox"/> 「運動は大切である」 R6年度…男子96%、女子97%⇒R7年度…男子100%、女子92.6%	・体育の授業をはじめとして、運動・スポーツについて肯定的な思いをもっている児童が男女共に多い。 さらに日常的に運動に親しむ習慣が身に付いていくことを期待したい。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■三間（時間・空間・仲間）を生かして <ul style="list-style-type: none"> ・友達と見合い、教え合い「できる」「分かる」喜びを通して、体を動かすことの楽しさを実感し、運動の継続や日常化を図る。 ■体力向上に向けた継続的な取組の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動に縄跳びを取り入れるなど、継続した取組を行う。 ■日常化につながる体育の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「おもしろい」「授業以外でもやってみたい」と思える教材化を図る。 ■端末を活用した学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・端末を活用して、互いの動きを見合い、よさや改善点を共有することで、自身の運動を見直し、改善を図る活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■休み時間の充実を図る場や用具等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <場> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間等に特別教室を運動の場として使用することで、運動空間を確保するとともに、大縄跳びに取り組む環境を整える。 <用具> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級にボール、長縄、フライングディスク等を配付し、それを活用した目標に向かって運動する継続した取組で体力向上を図る。 ■運動の機会の充実を図る環境整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・単元学習の時期に合わせた各種運動週間の実施（跳び箱週間、マット運動週間等） ■体育委員会による運動イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■外部講師の活用や家庭・地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科医による歯磨き指導や「生命誕生・命の大切さ」等の保健指導 ■健康診断や食に関する指導の機会を活用した、健康に関心をもつ指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭や栄養教諭による指導（授業・資料等）を継続し、児童が主体的に健康な体づくりをしていくための支援を継続する。 ■食に関する指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが食事の重要性や健康の保持増進のための望ましい食生活について理解し、自己指導能力を身に付けられるような取組を行う。 ■体育委員会・健康委員会（児童活動）を中心とした児童主体の運動機会の創出
--------	--	--	--

家庭・地域との連携・協働	<input type="checkbox"/> 学校評価（教職員、児童、保護者アンケート）等の活用 <input type="checkbox"/> 学校運営協議会（CS）・学校関係者評価等の活用	<input type="checkbox"/> 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用
--------------	--	--